



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）河本 大輔
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員 （氏名）大戸 章浩 TEL 084-923-5552
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	6,681	7.6	300	△3.5	319	△6.3	176	△4.6
2025年3月期第1四半期	6,210	8.9	311	10.5	341	11.1	184	△21.4

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 104百万円（△60.0％） 2025年3月期第1四半期 260百万円（△8.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	14.32	-
2025年3月期第1四半期	15.04	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	20,523	7,216	35.2	586.30
2025年3月期	19,655	7,223	36.7	586.84

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 7,216百万円 2025年3月期 7,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	9.00	-	9.00	18.00
2026年3月期	-				
2026年3月期（予想）		10.00	-	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	26,000	8.5	1,000	30.6	1,300	18.9	840	68.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	13,495,248株	2025年3月期	13,495,248株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,186,818株	2025年3月期	1,186,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	12,308,430株	2025年3月期1Q	12,285,630株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復しました。一方で、物価上昇の継続、地政学リスクの高まり及び米国の通商政策による影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、自販機運営リテイル事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,681百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益300百万円（同3.5%減）、経常利益319百万円（同6.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円（同4.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

(自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、生産・物流コストの高騰に対して業務の見直しによる生産性の向上や売価・設置条件の適正化による収益性の改善に引き続き取り組むとともに、消費者の求める利便性に応えるべくキャッシュレス対応を進めております。前年同四半期に計上した、新札対応に伴う機材の対応のための一過性の費用が減少したため、セグメント利益は増益となっております。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は3,535百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は37百万円（同100.6%増）となりました。

(飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の値上がりに対応した価格設定を行い収益性の改善を進めると共に、炭酸缶ラインの東西2拠点体制による営業力の強化を推進しました。

静岡ローストシステム㈱の茶葉加工が堅調に推移しておりますが、アシードブリュー㈱のパウチ飲料の製造数は引き続き好調であるものの缶飲料の製造数は回復途上であり、セグメント利益全体としては減益となっております。

この結果、飲料製造事業の売上高は3,037百万円（前年同四半期比12.3%増）、セグメント利益は332百万円（同8.5%減）となりました。

(不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート㈱を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は35百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は55百万円（同0.1%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高60百万円を含めると95百万円となります。

(その他事業)

その他事業におきましては、ロジックイノベーション㈱が東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を行っており、その他事業の売上高は73百万円（前年同四半期比20.1%増）、セグメント利益は17百万円（同134.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は20,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ868百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加490百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加178百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は13,307百万円となり、前連結会計年度末に比べ875百万円増加いたしました。これは買掛金の増加548百万円及び短期借入金の増加260百万円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,216百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加176百万円、剰余金の配当による減少110百万円及び為替換算調整勘定の減少74百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は35.2%（前連結会計年度末は36.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,772	2,263
受取手形、売掛金及び契約資産	3,533	3,711
商品及び製品	1,017	1,107
原材料及び貯蔵品	337	383
前払費用	159	200
その他	686	598
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,505	8,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,650	2,825
機械装置及び運搬具（純額）	2,452	2,658
工具、器具及び備品（純額）	49	49
土地	3,812	3,812
リース資産（純額）	324	295
建設仮勘定	335	162
有形固定資産合計	9,626	9,803
無形固定資産		
のれん	131	126
ソフトウェア	49	46
リース資産	13	11
その他	28	28
無形固定資産合計	223	213
投資その他の資産		
投資有価証券	1,650	1,588
長期前払費用	148	153
繰延税金資産	115	134
その他	427	408
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	2,299	2,242
固定資産合計	12,149	12,260
資産合計	19,655	20,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,734	3,283
短期借入金	2,580	2,840
1年内返済予定の長期借入金	1,179	1,257
リース債務	115	107
未払金	809	821
未払法人税等	108	139
未払消費税等	188	120
賞与引当金	200	314
その他	658	710
流動負債合計	8,575	9,594
固定負債		
長期借入金	3,185	3,150
リース債務	235	212
再評価に係る繰延税金負債	35	35
退職給付に係る負債	159	1
その他	240	312
固定負債合計	3,856	3,713
負債合計	12,431	13,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	6,051	6,116
自己株式	△618	△618
株主資本合計	7,267	7,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	119
土地再評価差額金	△364	△364
為替換算調整勘定	202	128
その他の包括利益累計額合計	△44	△116
純資産合計	7,223	7,216
負債純資産合計	19,655	20,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,210	6,681
売上原価	3,796	4,183
売上総利益	2,414	2,498
販売費及び一般管理費	2,102	2,197
営業利益	311	300
営業外収益		
受取配当金	8	6
持分法による投資利益	—	8
その他	41	30
営業外収益合計	49	44
営業外費用		
支払利息	8	13
持分法による投資損失	5	—
その他	6	11
営業外費用合計	20	25
経常利益	341	319
特別損失		
固定資産除却損	39	13
特別損失合計	39	13
税金等調整前四半期純利益	301	306
法人税、住民税及び事業税	119	161
法人税等調整額	△2	△30
法人税等合計	116	130
四半期純利益	184	176
親会社株主に帰属する四半期純利益	184	176

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	184	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	2
持分法適用会社に対する持分相当額	49	△74
その他の包括利益合計	75	△72
四半期包括利益	260	104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260	104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付制度の移行)

当社及び一部の連結子会社は、2025年4月1日より退職一時金制度について確定拠出企業年金制度に移行いたしました。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 2007年2月7日)を適用し、確定拠出企業年金制度への移行部分について、退職給付制度の一部終了の処理を行っております。これによる、当確定拠出企業年金制度への移換額は157百万円であり、当第1四半期連結会計期間末時点の未移換額118百万円は、流動負債の未払金及び固定負債のその他に計上しております。なお、本移行による損益に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	198百万円	212百万円
のれんの償却額	6	5

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,409	2,705	34	61	6,210	—	6,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	35	57	26	120	△120	—
計	3,410	2,741	92	87	6,331	△120	6,210
セグメント利益	18	363	55	7	444	△132	311

(注) 1. セグメント利益の調整額△132百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,535	3,037	35	73	6,681	—	6,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	33	60	39	134	△134	—
計	3,536	3,071	95	113	6,816	△134	6,681
セグメント利益	37	332	55	17	442	△141	300

- (注) 1. セグメント利益の調整額△141百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。